－夏の終わり、心をひとつに－

藤岡まつり

毎年7月に開催される藤岡の夏の風物詩「藤岡まつり」。今年は参議院選挙の影響で、8月30日・31日へと日程が変更されました。例年とは異なるスケジュールとなりましたが、まちに満ちた熱気とにぎわいは、むしろ夏の終わりという季節がもたらす、どこか特別な高揚感に包まれていました。

まつりの見どころは、迫力ある宮神輿渡御と、絢爛（けんらん）豪華な13台の祇園山車の行進。さらに今年は、地元の高校生たちが神輿の担ぎ手として参加し、ひときわ注目を集めました。揃いの法被（はっぴ）に身を包み、真剣な表情で神輿を担ぐその姿は、地域の未来を担う若者たちの力強さと、伝統を受け継ぐ誇りを感じさせてくれました。太鼓の音に心を揺らし、威勢の良い掛け声が空に響くたび、人々の表情には笑顔と感動があふれました。

地域の誇りと絆を感じさせてくれた藤岡まつり。今年もまた、まちの記憶に深く刻まれる2日間となりました。